

令和2年度九州地域エネルギー温暖化対策会議資料

大分県地球温暖化防止活動推進センター

1 今年度一般向け事業について

- ① COOL CHOICE の推進（参考：令和元年度 賛同 個人2, 422件 法人・団体等6件）
- ② 夏の省エネ・節電セミナー
日時 7月10日(金) 場所 大分県労働福祉会館ソレイユ7階
内容 オンライン講演「いま求められる気候変動緩和策・適応策」
講師 国立環境研究所地球環境研究センター副センター長 江守正多
- ③ おおいた地球温暖化防止推進大会2020
日時 12月10日(木) 13:20～
場所 大分県医師会館7階
内容 おおいた脱炭素杯2020表彰式
講演「農村地帯でのRE100化を目指す女性農家たちの挑戦」
講師 NPO法人田舎のヒロインズ理事長
おおいた脱炭素杯2020事例発表 4題
- ④ 家庭の省エネ大賞絵画コンクール
対象：県下全小学校、4, 5, 6年生
テーマ：地球に優しい環境
応募数：335点 顕彰：大分県知事賞他36点
- ⑤ 地球温暖化防止活動推進員及び地域協議会合同研修会
日時 9月25日(金)
内容 講演1 「新型コロナウイルスと感染症の基礎知識」
講師 大分大学副学長 西園 晃
講演2 「地域循環共生圏と私たちの取り組みについて」
講師 九州地方環境パートナーシップオフィス 澤 克彦
- ⑥ 宅配便の再配達削減
再配達状況アンケートの実施、前期 7, 8月 後期 10, 11月
置き配ボックスの実証試験 11名 12月下旬

⑦ 省エネ体験及び省エネ家電買い替えの促進

関係者連絡会議の開催

日時 9月15日(火) 10:00～11:30

場所 大分県労働福祉会館ソレイユ

内容 省エネ家電買い替えについてのアンケート実施今後の計画について

⑧ うちエコ診断の実施

各家庭のエネルギーの消費状況等を基に診断し、具体的・効果的な二酸化炭素の削減対策を提案する「うちエコ診断」を実施

(令和2年度67件令和2年度まで累計 1,428件)

2 事業者向け普及啓発事業

① 事業所向け無料省エネ診断

県内企業 60件予定(令和2年度年度まで累計949件)

② エコドライブの推進

事業所安全運転管理者講習会 4,000事業所(今年度はコロナのため中止)

全国大会（大分県関係） 出場団体一覧

年度	取り組みの名称	団体の名称	活動の概要	全国大会
平成 21	夢咲き・花咲き・くにさきひまわりプロジェクト	くにさきエコシステム株式会社	<p>バイオディーゼル燃料リサイクル装置の導入を契機に自社車両のBDF燃料化。また地域資源循環モデル構築のため、市民参加のひまわり栽培、ひまわり油の生産に取り組む。</p> 	<p>ストップ温暖化一村一品 2010 審査委員特別賞（ひまわり劇場賞） (大分県知事賞)</p>
22	「里山再生プロジェクト」竹とバークを原料としたファイバーボードの開発	大分県立日田林工高等学校林産クラブ	<p>里山にはびこる竹と林業地である日田地方に大量に産出され処理に困っている杉の樹皮（バーク）を原料として全く新しい形のファイバーボードの開発。JIS規格にも合格。地域の研究機関・企業等と連携、地域活性化に取り組んできた。</p> 	<p>低炭素杯 2011 環境大臣賞準グランプリ (大分県知事賞)</p>
24	社内の省エネ活動及び地域と一体となった森林保全活動	ソニーセミコンダクタ株式会社 大分テクノロジーセンター	<p>社内で環境委員会を組織し、省エネ・レスペーパー・廃棄物の削減に取り組んだ。また、市とともに、森林保全活動も行っている。</p>	<p>低炭素杯 2013 ファイナリスト賞 (大分県知事賞)</p>
25	産業廃棄物の再資源化で二酸化炭素の発生を削減・抑制する混和材料の創造	株式会社ゼロテクノ	<p>大分大学と連携し、開発技術の一つであるコンクリート用混和剤「高品質フライアッシュCFEA」の製造事業を展開し、建設部門におけるCO₂排出削減の実現と地球の環境保全に貢献している。</p>	<p>低炭素杯 2014 企画・審査委員特別賞 (最優秀ソーシャルイノベーション賞) (大分県知事賞)</p>
	エコな乗り物には、エコなエネルギーで	T・プラン株式会社	<p>超小型電気自動車の走行エネルギーは全て再生可能エネルギーでまかなうCO₂排出をしないゼロ・エミッションのモデル的活動、そのため太陽光発電と蓄電池システムを備えた充電ステーション「青空コンセント」の製品化を行った。</p>	<p>ファイナリスト賞</p>
26	バークを中心とした循環型農業の展開 校内から地域へ	大分県立玖珠農業高等学校チーム野菜	<p>資源の有効利用、環境保全の観点から地域で大量に産出される杉樹皮（バーク）を有機的に結びつけた循環型農場経営を学校をあげて取り組むこととした。単に「バークを使ってみる」だけでなく、農産物の収量・食味・栽培方法を確立し地域に定着させる可能性を検証。地域の農家へ提案を考えている。</p>	<p>環境大臣賞金賞 (学生活動部門)</p>
	バークを中心とした循環型農業の展開 校内から地域へ～トマト栽培における省力化バークマットの開発と栽培方法の確立～	大分県立玖珠農業高等学校チーム野菜	<p>資源の有効利用、環境保全の観点から、地域で大量に産出される杉樹皮バークを循環型農場経営の実現を目指しての取り組み。持ち運びに便利、栽培しやすい、バークマットの開発の取り組み。</p>	<p>低炭素杯 2015 ファイナリスト賞 (大分県知事賞)</p>

年度	取り組みの名称	団体の名称	活動の概要	全国大会
27	焼酎粕を活用した環境負荷低減と資源循環による価値創造	三和酒類株式会社環境技術部	麦焼酎の製造過程で焼酎粕が大量にできるが、これを貴重な資源と捉え、バイオマス資源として活用また、家畜の飼料原料・作物の肥料原料として活用している	低炭素杯 2016 ファイナリスト賞 (大分県知事賞)
	パークを中心とした循環型農業の展開 校内から地域へ Part II～トマト栽培における省力化パークマットの開発と栽培方法の確立～	大分県立玖珠美山高等学校チーム野菜	「パークを使ってみる」だけでなく、パークを通して有機的に結びついた農場経営の提案、農産物の収量・食味・栽培方法を確立し地域定着の可能性を実証。	ファイナリスト賞
28	九州エコライフポイント(九州版炭素マイレージ制度)	九州版炭素マイレージ制度推進協議会	九州7県等の協議会が、家庭の電気使用量の削減、環境保全活動、省エネ製品の購入に買い物ポイント券交付。	環境大臣賞金賞 (市民部門)
	荒れた竹林や田畑の利活用による地域活性化事業	NPO法人いきいき安心おおいた	竹林整備と竹材の燃料、肥料化。竹燃料電池等研究と連携。米作り等子供の農林体験活動、環境学習会。	オルタナ最優秀ストーリー賞
29	笑顔で広がるエコの芽～エコキッズの環境ede(いーで)隊	大平山友遊エコクラブ・やまなみこどもエコクラブ	自然観察会、地域のゴミ拾い、手作り石鹸づくり、廃油ろうそく作り、活動をまとめた壁新聞等地域との交流でエコの芽を広げている	低炭素杯 2017 タカラトミー最優秀次世代賞 (大分県知事賞)
	パークを中心とした循環型農業の展開 校内から地域へ IV	大分県立玖珠美山高等学校チーム野菜	<p>トマト等栽培用培地として杉樹皮パークマットの開発。活用協議会の設置。高糖度トマト栽培に成功。特許取得</p> <p>5ヶ所で実証実験開始!</p> 	低炭素杯 2018 アンバサダー特別賞 (大分県知事賞)
30	「エコアイランド」と「地域活性化」を目指した超小型EVの活用	姫島エコツーリズム推進協議会	<p>二次交通の無い姫島において、仕事や観光で訪れる来島者が気軽に島内を移動出来るよう超小型電気自動車の貸出を行い、地元の人や事業者にとっても新たな移動手段となるような利用実証を行っている。太陽光発電による電力で超小型電気自動車の充電と事務所の電気を補っている。また青パパイヤの栽培を通して二酸化炭素の吸収と特産品づくりにも挑戦。</p> 	低炭素杯 2019 環境大臣賞グランプリ (大分県知事賞)
31 (令和元)	食品リサイクル・ループによる食品ロス低減に向けた取り組み	株式会社マルミヤストア	食品ロスを減少させることを目的に食品リサイクル・ループでの構築を推進している。店舗から排出される野菜屑等を再資源化して堆肥に再生(ZEN)、コンソーシアムで実施。また、夏休みの親子イベントとしてトウモロコシ収穫体験&クッキング教室の食育ツアー等実施。	脱炭素チャレンジカップ 2020 優秀賞 (大分県知事賞)